



1 / フランクリン市役所前で訪問団を出迎え、歓迎する市職員ら
 2 / 交流により心を通わせたホームステイ
 3 / 視察したフランクリン大学内に設置されるタマシ・アレン先生の胸像
 4 / フランクリン秋まつりでは、にぎやかなパレードで市民も訪問を歓迎
 5 / 盛大に開かれた公式夕食会
 6 / 夕食会で、両市の記念品を交換し、さらなる友好を誓う山内市長とパリス市長



フランクリン市姉妹都市締結50周年記念訪問事業

深めた友好 新たな一歩

本市と米国フランクリン市が姉妹都市となって50年一。これまで積み重ねてきた交流をさらに深め、未来につなげるため、山内隆文市長を団長とする訪問団が9月29日—10月7日の日程で同市を訪問しました。訪問で手にした未来への絆。本市とフランクリン市は、次の50年に向かって、新たな一歩を踏み出しました。(15分まで)



姉妹都市・米国フランクリン市

- 位置…アメリカ合衆国中央北部に位置し、インディアナ州ジョンソン郡の郡庁所在地になっている(右の写真は同市にある郡裁判所)
- 人口…約2万4,000人
- 産業…畜産などの農業と製造業が主
- 経緯…本市の名誉市民タマシ・アレン氏の出身地ということが縁となり、昭和35年10月5日、本市と姉妹都市を締結

友好誓って半世紀

海を越え、友好を誓ってから半世紀。今年10月5日、本市と米国フランクリン市は姉妹都市締結から50周年の節目を迎えました。

市は姉妹都市締結50周年記念事業として、市民から参加者を募り訪問団を組織。団長の山内隆文市長、宮澤憲司市議会議長をはじめとする団員21人が、両市の友好関係を未来へとつなげていくため、9月29日から9日間の日程でフランクリン市を訪問しました。

発展を誓って調印

家族や関係者に見送られ、9月29日に市役所を出発した訪問団は、30日に米国ワシントンDCに到着。行政視察後、さらに移動し、10月1日にフ

ランクリン市に入りました。

はじめに訪れたフランクリン市役所では、多くの市職員や市民が訪問団を歓迎。同日開かれた50周年記念調印式には、フランクリン市の歴代市長を含む約70人が出席しました。注目が集まる中、山内市長とフランクリン市のフレッド・パリス市長は、両市の友好関係のさらなる発展を誓う同意書に調印し、固く握手。

出席者は大きな拍手で、両市が新たな一歩を踏み出した瞬間を喜びました。

市民交流で心通う

行政だけでなく、久慈青年会議所や久慈ロータリークラブなどが中心となって交流を重ね、深められてきた両市の絆。今回も市民間の交流が図られました。団員のうち一般

参加の15人は6組に分かれて

ホームステイ。フランクリン秋まつりや夕食会に参加した多くのフランクリン市民ともふれあい、心を通わせました。

このほか、訪問団は本市の名誉市民タマシ・アレン先生を輩出したフランクリン大学なども視察。ロサンゼルスでの行政視察を経て、10月6日に帰国しました。

絆という成果手に

半世紀にわたり積み重ねてきた交流をさらに深め、友好関係の新たな一歩を築いた訪問団。10月7日、市役所に到着した団員は皆、充実した表情を浮かべていました。「絆」という次の50年につながるかけがえのない成果を手にし、記念訪問事業は無事、全日程を終えました。

訪問事業の主な日程

- 9月29日…市役所出発式。成田空港から出国
- 9月30日…ワシントンDCで行政視察
- 10月1日…フランクリン市着。姉妹都市締結50周年記念調印式。ホームステイ
- 10月2日…フランクリン大学などを視察。秋まつりパレード参加・見学後、夕食会。ホームステイ
- 10月3日…フランクリン市発。ロサンゼルスへ
- 10月4日…ロサンゼルスで行政視察
- 10月5日…ロサンゼルス発。シアトル国際空港から成田空港へ
- 10月6日…成田空港着
- 10月7日…市役所で到着式